

第4回犬山市歴史まちづくり協議会議事録

開催日時：平成24年3月23日（金）午後1時30分～

開催場所：犬山市役所203会議室

出席者：敬称略

区分	機関・団体等	氏名
市議会議員	犬山市市議会議員	後藤 幸夫
〃	〃	柴田 浩行
学識経験者	北海道大学大学院工学研究院 教授	越澤 明【会長】
〃	犬山市文化財保護審議会 委員	長谷川 良夫
関係施設管理者	財団法人犬山城白帝文庫 事務局長	山澄 俊明
〃	株式会社名鉄犬山ホテル 総務部長	岩下 昌道
〃	愛知県一宮建設事務所長	福井 恒司 (代理：山名 敏之)
県職員	愛知県 教育委員会 生涯学習課 文化財保護室	森 繁雄 (代理：牧 謙治)
〃	愛知県 建設部 公園緑地課長	小林 恒夫 (代理：三輪 哲久)
市職員	都市整備部長	河村 清 (代理：小川 清美)
〃	教育部長	大西 正則
〃	経済環境部長	中田 哲夫 (代理：一柳 佳誉)
オブザーバー	中部地方整備局 建政部 計画管理課長	沖川 弘毅（欠席）

事務局：歴史まちづくり課 中村、安藤、市野、加藤

議事内容

- あいさつ
- 委嘱状伝達
- 報告事項
 - 犬山市歴史まちづくり協議会設置要綱改正について
 - 専門部会の設置について
 - 平成23年度歴史まちづくりに関する補助事業について
 - 歴史まちづくりに関する事業の評価について
 - 歴史的風致形成建造物の指定について
- 議事
 - 犬山市歴史的風維持向上計画の変更について
 - 犬山市歴史まちづくり協議会設置要綱の改正について

■ 犬山市歴史まちづくり協議会設置要綱改正について

事務局から、犬山市歴史まちづくり協議会設置要綱改正点について説明。

■ 専門部会の設置について

委員：専門部会の委員について、委員のメンバーに地元の人間が一人も入っていないのはいかがなものか。

事務局：将来的には地元の方にもメンバーに入っていただくことも視野に入れているが、スタートは専門的な知識のあるメンバーで検討することから始めたいと考えている。

会長：現段階では城下町について色々検討するにも基礎資料がないので、それを専門的に整理する必要がある。本格的な実施検討に向けては別に会が必要になってくるのではないかと考える。あくまで専門部会でやることは城下町の現状把握がメインの作業になるので、調査委員会という位置づけと考えていただきたい。

委員：城下町の具体的な整備計画を策定する段階になった際には、ぜひ地元の声を入れていただくようお願いしたい。

■ 平成23年度歴史まちづくりに関する補助事業について

会長：毎年、着実に計画に載っている事業が形になっていることについて、嬉しく思っている。堀部邸の活用については、これからさらに進んでいくものと考えますが、民間活用の先進事例になってもらいたい。

■ 歴史まちづくりに関する事業の評価について

委員：最近、城下町の町並みが雑然としているという印象を受けている。お店の旗や看板が大変見苦しい。賑わいが出てくることはよいことだが、商品が道路にはみ出して陳列されている店もあり、あまりよろしくない。店舗と町並みをいかにマッチングさせていくかが課題であるように思う。

委員：どうしても店主はいかに収入を得るかを考えるため、住民の意識を変えていかないといけない。大須のように店舗が主体になるといずれは飽きられてしまう。長浜では住民が追い出されてしまったという事例も聞いた。犬山では、店舗と住民のバランスをとらないといけない。もう少し長い目で見て、自分も努力していきたい。

委員：都市計画建築課としては何とかしたいという気持ちはある。個人の経営事情もあるので対応が難しいが、看板の色調やデザイン等を統一することを検討していきたい。

委員：観光サイドで言えば、空き店舗の改修や歩行者天国の実施によって、賑わいが創出されていることは確かである。これからはまちづくりと経済施策、観光施策をトータルで考えてく中で、犬山らしさを年間通じて創出していくように努力したい。

■ 歴史的風致形成建造物の指定について

事務局から、歴史的風致形成建造物の指定状況について説明。

【議事】

- 犬山市歴史的風維持向上計画の変更について
⇒ 異議なしとして承認。

- 犬山市歴史まちづくり協議会設置要綱の改正について
⇒ 異議なしとして承認。